

# 福 井 県

---

## 『FIRST291～北陸新幹線開業プラン～（案）』 に関する県民パブリックコメント意見募集の結果

令和2年3月26日  
福井県交流文化部新幹線開業課

今回、「FIRST291～北陸新幹線開業プラン～（案）」について、県民の皆様からご意見を募集したところ、次のようなご意見をいただきました。

県では、いただいたご意見をプラン策定および今後の施策の参考とさせていただきます。

- 1 意見募集期間  
令和2年2月20日（木）から令和2年3月4日（水）まで
- 2 意見件数  
10件（4名）
- 3 提出されたご意見の概要および県の考え方  
別紙のとおり
- 4 問合せ先  
福井県交流文化部新幹線開業課  
TEL 0776-20-0546  
FAX 0776-20-0381  
E-mail [shinkansen-kaigyo@pref.fukui.lg.jp](mailto:shinkansen-kaigyo@pref.fukui.lg.jp)

FIRST 291～北陸新幹線開業プラン～（案）に関する  
県民パブリックコメント意見の概要と県の考え方

【取組方針について】

No	意見の概要	県の考え方
1	<p>福井県で日常とは違う、のんびりとした時間を過ごし、それを魅力として感じてもらう。地元のお酒、食、自然、祭りなど、福井県を体験してもらい、実家や親類の家のように感じてもらう。そうして安心することを幸せと結びつけ、「HAPPY」であるとアピールすべきである。</p>	<p>本県は、民間調査において連続して「幸福度日本一」となるなど、住みやすい、暮らしやすい地域として高い評価を受けています。</p> <p>このため、首都圏へのプロモーションや受入準備に当たっては、恐竜や年縞等中生代から近代に至るまで幅広く厚みのある歴史・文化資源、禅の教えに基づく精進料理や本県発祥と言われるおろしそば等の食・食文化、身近にある里山里海湖等豊かな自然を活かしたアクティビティ体験など、幸福度日本一である福井ならではのコンテンツを活用していきます。</p>
2	<p>新幹線開業の効果を一時的ブームに終わらせてはいけません。持続的に観光客が来てくれ、そのリピーターが増加していくことが最も大事である。開業記念冠イベントやキャンペーンは一時的なものではなく、継続を念頭にプランしておくことが肝要である。フルマラソンや首都圏でのキャンペーンは継続しなくては意味がない。</p>	<p>ブームを一過性で終わらせないようにしなければなりません。</p> <p>このため、福井の認知度を向上させ、観光意欲につなげていくこととし、マイブームや一過性に終わらないムーブメント、更には文化へ高めていきます。</p> <p>また、当プランは開業後2年間を含む5年間を計画期間としており、開業後も継続的に施策を実施し、開業効果を高めていきます。</p>
3	<p>事業の担い手（プレイヤー）も含めて地元事業者の育成が大事である。</p>	<p>開業後、多くの方が何度も来てくれるようにするためには、観光を担うプレイヤーの存在が重要です。</p> <p>このため、観光地域づくり法人（DMO）を中心に観光を担うプレイヤーを発掘・育成し、地域と一体となって施策を展開していきます。</p>

4	<p>より多くのお金を落としてもらうためにどうしたらいいのかを計画のベースにしてもらいたい。そのためには、まず、客単価を高く保つための施策が必要である。</p>	<p>観光消費を高める施策は重要であると考えています。</p> <p>このため、別途策定する「ふくい観光ビジョン」の目標を共有しながら、「県民参加」と「市町協働」により、基本的なサービス提供を前提により高いサービス提供を行うことや、イベント・観光コンテンツ等の魅力づくり、県内各地への周遊を促す仕組みづくり等を行うことによって、多くの方が何度も旅行し消費をしてくれる仕掛けを作っていきます。</p>
5	<p>総花的にすべて対応しようとしても経営資源の無駄使いになる。本県の強みを生かした一点突破、全面展開というコンセプトが必要ではないか。</p>	<p>限られた時間のなかで、本県の認知度等を向上させ、多くの方に来ていただく必要があると考えています。</p> <p>このため、知的好奇心や体験意欲を刺激する福井ならではのコンテンツを活かし、プロモーションの展開や受入環境の充実を進めていきます。</p>

### 【広域連携について】

No	意見の概要	県の考え方
6	<p>北陸三県が「つながる」ことをもっと重要視する方が良い。北陸三県の競合ではなく、連携を強く意識した戦略が基本にあるべきである。インバウンドなどの戦略では、新幹線を活用した広域的な連携が不可欠である。</p>	<p>北陸新幹線金沢開業により認知度が向上した「北陸」を前面に出した施策の展開は重要であると考えています。</p> <p>このため、北陸三県等が連携した大型観光キャンペーンやイベントなどを積極的に展開していきます。</p> <p>なお、滋賀や京都など隣府県と協働した広域観光キャンペーンなども実施していきます。</p>
7	<p>インバウンドなどの戦略では、例えば「北陸3都物語」や「海の京都・若狭」などをキャッチにして、新幹線とクルーズ船で北陸各地の港（舞鶴、小浜、敦賀、坂井（三国）、金沢、七尾、富山など）を結んだ宿泊や飲食の要素を含めたルートもインバウンドには有効である。また、歴史的な北前船の物語も有効である。</p>	<p>外国人観光客の誘客については、北陸新幹線沿線自治体や関西の観光団体等と協働した誘客が重要であると考えており、共同プロモーションや広域観光ルートの設定をしていきます。</p> <p>また、港と鉄道を活用した周遊促進や日本遺産を巡るツアー造成とガイドブック作成等を行うことにより、外国人観光客の誘客を促進します。</p>

【受入環境について】

No	意見の概要	県の考え方
8	<p>ホテルや飲食店、居酒屋、スナック等の接客態度やサービスが悪いところが多い。また、提供される商品やサービスが値段の割にそれだけの満足感が得られない。リピーターが増えるような店舗サービスは、ホスピタリティーと予想以上の満足感が得られる商品やサービスの提供である。</p>	<p>民間調査においても、旅行者が本県で地元の人ホスピタリティーを感じた割合は高くない結果となっています。</p> <p>このため、基本的なサービス提供を前提により高いサービス提供を行うことによって観光客の満足度を高めることとし、国が推奨するサービス品質の規格認証である「おもてなし規格認証」の取得を拡大することで、観光事業者のサービス品質の向上、見える化を図っていきます。</p> <p>また、ふくいの伝統的な惣菜各種を「お幸ざい」として宿泊施設で提供するなど、福井ならではの食・食文化を楽しむコンテンツを充実していきます。</p>
9	<p>ハード面で投資を積極的に行い、観光資源の磨き上げを是非して欲しい。特に、ゲートウェイの福井市中心街のまちづくりや三方五湖・東尋坊など観光地の整備は不可欠である。</p>	<p>新幹線開業は、本県にとって100年に一度のチャンスであるため、このチャンスを最大限に活かすため、県では、平成28年3月に「高速交通開通アクション・プログラム」を策定し、例えば、福井市中央公園の再整備や年縞博物館の整備等ハード整備を進めています。</p> <p>今回のプランにおいても、新幹線駅や在来線駅およびその周辺については、店舗や空間等の魅力を高めることなどにより、まち歩きを促進し、賑わいを作ることとしています。</p> <p>また、三方五湖周辺において「サイクリングリゾート」の形成を目指し、サイクリング支援設備の導入やサイクリングツアーの提供等を図ることや、東尋坊周辺において「ラグジュアリーリゾート」の形成を目指し、絶景を楽しむ仕掛けやアクティビティの導入等を図ることとしています。</p>

10	<p>伝統的な祭りに観光客の受け入れを進めてほしい。また、祭り見物だけでなく、宿泊や飲食のサービス、出来れば祭りそのものへの参加システムなどのおもてなしの環境整備を呼び掛けてほしい。(三国まつり、勝山左義長まつり、小浜の放生祭など)</p>	<p>祭りなどのイベントを活用し、県外観光客の誘客を促進することは重要であると考えています。</p> <p>このため、開業前後に開催される多くの祭りなどのイベントを「北陸新幹線開業記念イベント」に位置づけ実施することにより、県外観光客のおもてなしをしたいと考えています。</p> <p>なお、伝統的な祭りなどへの参加については受入体制の構築が必要であるため、まずは地元における検討が必要であると考えています。</p>
----	--	--